

同志社女子大学

生活科学会通信

No. 64

2023年6月

同志社女子大学
生活科学会

マスク、外しましたか

川崎 祐子（生活科学会長）

新型コロナ感染症が感染症法上2類から5類に変更になり、未曾有のパンデミックもようやく出口が見え始めました。三月末に心和館食堂のアクリル板が撤去され、実験実習以外ではマスクを外す学生が増えました。

思えば三年前の今頃は入学式も授業もなく、学生のいない閑散としたキャンパスはまるで廃墟のような静けさでした。ソーシャル・ディスタンスは人との接触を否定し、マスクは人間らしい表情を隠しました。声を大にして笑ったり歌つたりすることも、大人数で食事をすることもなくなりました。授業やゼミを教えていて、以前に比べ若い人たちがおとなしくなったのではないかと心配です。この間に卒業していく学生たちが、四年間で一番の楽しみだったはずの卒業記念パーティーを体験することなく巣立つていったのは本当に残念です。ぜひとも仕事や新生活に慣れた五年後、十年後のどこかで学年会を開催し、リベンジを果たしていただきたいと願っています。

この三年で、社会のいろいろなひずみが炙り出された気がします。経済活動の停止で真っ先に雇止めされたのは非正規雇用労働者でしたが、二〇二二年の非正規雇用率は男性が21・8%、女性が53・6%で、この年女性の自死が三割弱増加しました。パンデミック初期の感染者は入院を義務付

けられていましたが、法律に基づかないパートナーは入院時の保証人になれず、最期の別れにも立ち会えなかつたとも報道され、社会の中で立場の弱い者は誰かが透けて見えました。コロナ禍でさらには拍車がかかった少子化を異次元の対策で取り戻すといつても、戦時中の産めよ増やせよよりも、自由や平等を謳う民主主義教育を受けたいたたま『産む性』に生まれた側の人たちがどういう人生を選択するのかを他人が決められるわけでもなく、金錢的補助だけで解決するのか疑問です。そういえば、高校時代に家庭科の先生が「男女の間に生物学的な差別はあつてはならない」と言われたことを久々に思い出しましたが、男女という単純な分け方もすでに時代遅れで、多様な価値観や生き方、多様な文化や背景を互いに理解し受け入れつつ、自分はどう在ることが幸せなのかを自分自身で考えていく時代なのだろうと思います。

日本人は急な変化を嫌うのか、ある意味慣れ親しんだマスクを外すのに勇気がいる人も多いかもしれません。それでも笑顔とコミュニケーションを忘れずに、この三年間の貴重な体験を次に生かしていきたいものです。かくいう私は花粉症（イネ科）のため、コロナ前も今もマスクをしております（笑）。

生活科学部短信

①人間生活学科の諸井克英先生（社会心理学）が2023年3月をもって退職されました。先生は長年に渡り本学の教育・研究両面において多大な貢献をされ、この度、名誉教授の称号を受けられました。

②4月より人間生活学科に村井陽平先生（プロダクトデザイン）が新たに着任されました。

③学部長・学科主任について

生活科学部長は山本寿先生が、人間生活学科主任は奥田紫乃先生が、食物栄養科学科主任は杉浦実先生が、昨年度に引き続きそれぞれ任にあたられます。

④第37回管理栄養士国家試験の全国の平均合格率56.6%、全国管理栄養士養成施設（新卒）の平均合格率87.2%に対し、本学管理栄養士専攻新卒の合格率は97.4%（78名受験中76名合格）でした。

生活科学部の新しいスタッフの紹介

御退職の先生からのメッセージ



プロダクトデザイン
研究室

二〇一三年四月一日付で、人間生活学科に着任致しました、村井陽平（むらいようへい）と申します。私は、金沢美術工芸大学でデザインを勉強した後に、関西の企業にインハウスデザイナーとして勤めました。その後、京都市立芸術大学大学院修士課程、博士課程を修了し、教員になりました。この度、京都の地に戻る機会を頂きましたことを、大変嬉しく思っております。

自身の研究テーマとしては、大窓です。西洋化に伴い和文化は低き二つに分けて考えております。一つ目は、「プロダクトデザイン実務」です。プロダクトデザイナーは、建築以外の工場から出荷されるような工業製品がその対象であり、非常に幅広いです。私は、モノが好きだということから、それを考えるデザイナーになりたいと考えたため、一つでも多くのジャンルの製品に携わることを目標としています。二つ目は、伝統工芸を対象としたデザイン研

「さらば、生活科学会！」
とは言わずに…

諸井 克英

私事ながら、この三月で本学を退職。二〇〇年近く勤めた静岡大学人文学部社会学科から、二〇〇一年四月に本学社会システム学科設置に伴い、「travail」。二〇〇六年四月には、ひょんなことから人間生活学科へ。これによって生活科学会の一員に。退会というわけでもないようですが、所謂慣習つてことで何か記すことに。

ご承知のように、この生活科学会とは、生活科学部の学生さん、院生さん、卒業生の方々、それと生活科学部の教員から構成される組織。年1回の会報および「生活科学」誌の発行に加え、種々の催し。このような充実した組織は、本学に設けられている様々な学部・学科に存在。

学との間に学問的乖離感を抱きながらも、とくに「生活科学」誌というツールを思う存分活用。そして乖離感秘めつつも最後まで。
そもそも研究とは何かということになるが、例えば「社会心理学」とは「社会心理学」で雇用されてしまうのだから専門的世界の水準を意識しつつ（例えば、専門学会誌、科学研究費の取得など）、「社会心理学」の世界を自分なりに（奔放に）拡大することによって、自身のアイデンティティー確立を図つたつもり。

このための中心軸が学部ゼミ生さんや院生さんとの協業。例えれば、各自の研究課題の設定は学生さんが自らの日常に基づき創案。

ただし、これは長い歴史をもつ社会心理学研究に基づく知見というよりも、彼らが織りなす日常から発案される言わば奔放で無垢な発想。これにこちらが保有する知見を塗すことによる協業。この成果を「生活科学」誌に「論文風に」して掲載。無論、専門学会での発表などの手段もあるが、コスト（会員費、投稿費など）を最小にという「したたかさ」の発揮の技。

これに加えて、「社会心理学の主対象は日常生活チャーチもとと言えどだから生き続けるー」という個人的嗜好に沿って、J-POPや果てはプロレスに至る「論」の展開の寄稿。これだつて実は先人たちが既に取り組んでいることを知り、研究者としてのアイデンティ

課題として学生さんによる設定に
モチ。

そこで、わが国の黄金の八〇年代はとくに終焉し、未来が見えない混沌とした世界。生活科学会の皆さんに最後に贈る言葉。
「大森靖子」の『オリオン座』(二〇一六年)だ。

「遊びを続けよう／5時の鐘がなつても終わらない今日の日を重ねて／滲む世界を抱きしめた／手を叩いて見るものすべてを喜んだ／死を重ねて生きる世界を壊したい／最高は今／最悪でも幸せでいようね」

それでは、最高で最悪の文章を最後まで読んで頂いたことに、感謝。

生活科学会 大会報告

見学会報告 「チョコレートの世界へようこそ」

第五十六回同志社女子大学生活科学会大会を二〇二二年七月一三日（水）午後三時から楽真館○○二教室にて平光睦子先生を会長として開催しました。

総会では、二〇二一年度事業報告および決算報告、二〇二二年度事業計画および予算についての審議を行い、承認されました。続いて、愛知県立芸術大学美術学部デザイン・工芸科陶磁専攻教授 長井千春先生による講演会「セラミックデザインの近代、日本におけるドイツ陶磁の受容」を開催しました。

講演では、「陶芸」とは異なる、ヨーロッパの影響を受けた食器デザインがどのように日本に根付いていったかについて、多くの画像とともに説明していただきました。技術だけでなくデザインにおいても、ドイツが日本の陶磁器産業に影響を与えていたことが紹介され、陶磁器のジャンルには伝統工芸品だけではなくセラミックデザインという分野があり、日本の産業を支えてきたことがよくわかりました。



今回の講演の中で、3種類のチョコレートのティースティングをさせていただき、原料であるカカオ豆の産地による香味の違いを感じました。その背景には、気候に加えて、栽培や管理方法などが挙げられることを知り、チョコレートの安定的な生産を持続可能なものにしていくために、生産者向けの勉強会や環境に配慮した農法教育など、生産環境改善への取り組みについて理解することができました。そして、私たち消費者も、普段の食事から、ただおいしくただくだけでなく、その食べ物ができるまでの背景を知ることで、より有難さを感じられるとともに、社会課題に目を向けるきっかけになると思いました。

(SK4年)

研究会報告 「季節のフレッシュリース ワークショッピング

今出川キャンパスのすぐそばにある花屋 *suika* 秋田和美さんの、季節のグリーンをふんだんに使ったフレッシュリース作りのワークショッピングに参加しました。生花を使つたりース作りは初めてだったので少し緊張しながら当日を迎えるました。

まず教室に入るとグリーンのいい香りがすでに漂つており癒されたことでリラックスして取り組めました。そしてリース作りを行うにあたって使用する花材の種類や特徴、土台を飾り付けていく方法について丁寧に説明していただきました。初めは苦戦した部分もありましたが、参加者の皆さんとコミュニケーションをとつたり田さんにアドバイスをいたしたりすることでうまく形にすることができました。完成したリースは同じ花材を使用していても参加された方々で表情の全く異なる、オリジナリティに溢れたものとなりました。帰宅後リースはリビングの一番目立つ場所に飾り、色の変化を家族で楽しんでいます。

(L4年)
(L4年)



卒業生からの近況報告

二〇二〇年度L卒

私は在学中、環境計画学ゼミに所属し、齋藤先生のもとで学びました。ゼミ生がそれぞれ興味のある内容に取り組んでおり、多様なテーマや考えに触れることができました。齋藤先生の研究テーマである農家レストランをはじめ、パリアフリー、ランをはじめ、バリアフリー、

二〇〇八年度SK卒

二〇一〇年度S卒



二〇〇八年度SK卒



私は二〇二一年三月の卒業後、今年で十二回目の季節を迎えた。当時は日々の勉強や実習、卒業論文に向けた研究に追われながら、軽音楽部の活動に明け暮れた大学生活を過ごし、その後は恩師である村上恵先生の調理学研究室助手やカフェでのバリスタなど、様々な仕事を経験してきましたが、全て

私は在学中、環境計画学ゼミに所属し、齋藤先生のもとで学びました。ゼミ生がそれぞれ興味のある内容に取り組んでおり、多様なテーマや考えに触れることができました。齋藤先生の研究テーマである農家レストランをはじめ、バリアフリー、

その中で私は、屋外での暑さ対策をテーマに卒業論文を執筆しました。その論文を生活科学会誌に投稿したご縁で、この度寄稿することとなりました。

観光、移住など、多方面から地域の環境や経済、生活、社会をよくするための学びを得ることができました。

有している公文書の公開や、個人情報の保護などに関する業務を担当しています。

させていただいたりしました。市役所でのインターネットと
いった得難い機会に、大学の支援を受けて参加でき、貴重な経

分野ですが、市民の生活をより良くするための業務に人間生活学科での幅広い学びを活かしていきたいです。

は自分の人生に繋がっていると改めて感じています。

現在は、地元である滋賀県高島市内の総合建設会社が運営する、観葉植物店のスタッフとして勤務しています。お客様の暮らしに寄り添った観葉植物を提案する傍ら、昨年にはバリスタ経験を活かし、会社のオリジナルコーヒーの開発にも携わりま

した。コーヒーを通じて人が集まり、社員の方やお客様とのコミュニケーションが「暮らしのゆたかさ」となって広がつていくことに充実感を覚える日々を送っています。

同志社女子大学で得た学びは、私の視野を大きく広げてくれました。これまでに何度も転職をしましたが、無駄だったと

思う経験は一つもありません。多くの人と出会い、支えられて、今の私があると同時に、その学びや経験の全ては人生に繋がっており、慌ただしくも「今を大切に」と実感する毎日です。

最後になりましたが、生活科学会の今後の益々のご発展と卒業生の皆様の益々のご健康、ご活躍をお祈りしております。

深く調査研究がしたい」と思つたためでした。大学院在籍中は、2型糖尿病などの生活習慣病発症と関連する要因について虎の門病院人間ドックデータを活用した疫学研究プロジェクトに携わる機会を得ることができました。また大学院在籍中には、茨城県水戸協同病院の管理栄養士として臨床現場で勤務する経験も得ました。

国心臓病協会（American Heart Association, AHA）のエローシップサポートを受けてボスドク研究員として研究活動を行いました。以前から興味を持つていた、遺伝素因ならびに遺伝素因と食事要因の交互作用が疾病リスクに与える影響について研究を行っています。これまで私たちの研究チームが発表した複数の論文において、遺伝的に心筋梗塞や2型糖尿病などの病気

現在は米国 Tulane University School of Public Health and Tropical Medicine 疫学学部の教員として勤務しており、National Institute of Health のサポートを受けて様々な研究活動に取り組んでいます。遺伝素因、食事・解を見出しました。

栄養、新しいバイオマーカー等と、肥満・心血管疾患などの疾病発症リスクについて疫学研究を進めています。大学では自由な発想で研究できる環境に恵まれており、日々得られた研究成果を医学、栄養学雑誌や国際学会で発表しています。

『同志社女子大学生活科学』第五十六卷・内容

(二〇二三年発行)

学会では年一回会誌『同志社女子大学生活科学』を発行しています。二〇二二年度は第五十六巻を発行しました。卒業生の方で購読ご希望の方は五百円(送料込み)をお振込みの上お申し込み下さい。折り返し会誌をお送りします。バックナンバーもございます。また、四十四巻から論文を本学のホームページ上で公開しています。なお、会員の方はどなたでもこの会誌に投稿することができます。投稿規定と原稿の書き方は生活科学会Webサイトにてご確認下さい。原稿締切りは毎年十月中旬です。

岩谷幸春先生を偲ぶ——孤高を持つ人——

(原著論文)

否定的な対人的出来事におけるストレス対処と葛藤対処との関係

——女子大学生の場合——

諸井 克英・尾方みらい

高校時代における担任教師イメージと高校雰囲気に対する満足感に関する回顧

——女子大学生の場合——

諸井 克英・大久保亜美

服装・身だしなみに関する校則についての考察

——東京都立高等学校校則調査を中心に——

山本 優芽

宮本 義信

資料			
数のつく食べ物	(9)	名前に数字の九がつく食べ物	(その1)
数のつく食べ物	(9)	名前に数字の九がつく食べ物	(その2)
数のつく食べ物	(9)	名前に数字の九がつく食べ物	(その3)
数のつく食べ物	(9)	名前に数字の九がつく食べ物	(その4)
数のつく食べ物	(10)	名前に数字の十がつく食べ物	(その1)
数のつく食べ物	(10)	名前に数字の十がつく食べ物	(その2)
数のつく食べ物	(11)	名前に数字の十一から九十九がつく食べ物	(その1)
数のつく食べ物	(11)	名前に数字の十一から九十九がつく食べ物	(その2)
数のつく食べ物	(11)	名前に数字の十一から九十九がつく食べ物	(その3)
数のつく食べ物	(11)	名前に数字の十一から九十九がつく食べ物	(その4)
数のつく食べ物	(11)	名前に数字の十一から九十九がつく食べ物	(その5)
数のつく食べ物	(11)	名前に数字の十一から九十九がつく食べ物	(その6)

森田 潤司

奨学生のお知らせ

生活科学会では、本学生活科学部に所属する学生・院生に奨学生を支給しています。募集は9月に行います。詳細は同志社女子大学ホームページにてご確認ください。

(単位: 円)

□経常会計

	項目	予算	決算
収入	会費	2,943,000	2,901,000
	寄付	0	0
	利息	200	146
	雑収入	129,000	135,000
	研究会運営費	30,000	22,500
	見学会所要費	0	0
	収入 計	3,102,200	3,058,646
支出	大会運営費	120,000	112,076
	研究会運営費	100,000	95,000
	見学会所要費	0	0
	備品費	0	0
	印刷費	700,000	567,577
	通信費	200,000	151,624
	交通費	0	0
	文具雑品費	70,000	56,646
	アルバイト費	600,000	503,718
	雑費	20,000	13,984
	租税公課	1,500	1,049
	奨学生運営費振替	0	0
	支出 計	1,811,500	1,501,674
	当年度収支差額	1,290,700	1,556,972
	前年度繰越金	9,646,510	9,646,510
	次年度繰越金	10,937,210	11,203,482

□奨学生会計

	項目	予算	決算
収入	利息	500	566
	寄付	0	0
	奨学生運営費	0	0
	収入 計	500	566
支出	奨学生	650,000	600,000
	支出 計	650,000	600,000
	当年度収支差額	△649,500	△599,434
	前年度繰越金	21,653,354	21,653,354
	次年度繰越金	21,003,854	21,053,920

生活科学会運営委員(2023年度)

(敬称略)

教員	川崎祐子(会長)	倉橋優子(副会長)
	麻生美希	藤本純子
	村井陽平	今井具子
	奥村仙示	米田祐子
卒業生		
院生		
在学生	人間生活 4年次 3年次 2年次 1年次	食物科学 管理栄養
事務局	尼川佐知子	

基礎栄養学（鈴木）研究室

二〇二三年度は、ゼミ生（食管9名）、大学院生2名、新しい助手の古家さん、鈴木先生の13名で研究活動をスタートさせています。地道な基礎的な実験がメインとなりますが、皆で協力しコツコツ頑張つていきます。鈴木先生、古家さん、大学院生のお二人の優しく手厚いご指導を頂きながら成長できる一年にしたいと思います。

（ゼミ生一同）

公衆衛生学（吉田）研究室

今年度の公衆衛生学研究室は9名のゼミ生が所属することとなりました。吉田先生がゼミ生を迎られるのも8年目となり、先輩方の研究を参考に、さらに良い結果を得て欲しいと思います。ゼミ生にとって、卒業研究・就職活動、国家試験の勉強と忙しく頑張つていきます。吉田先生がゼミ生を迎られるのも8年目となり、先輩方の研究を参考に、さらに良い結果を得て欲しいと思います。ゼミ生

（助手）

（ゼミ生一同）

給食経営管理学（神田）研究室

今年は給食経営管理学研究室に九名のゼミ生が所属することになりました。

ゼミ生にとって、卒業研究や就職活動、国家試験の勉強と忙しくなりますが、実りある一年を過ごしてほしいと思います。

（奥村仙示）

生化学（倉橋）研究室

長く続いたコロナ禍に収束の兆しが見えつつある今日この頃、まだ不慣れなことが多いです。

が、来年の春には全員笑顔で卒業できるよう、精一杯サポートしていきたいと思います。

（助手）

（奥村仙示）

食品機能学（杉浦）研究室

かれて、自分たちで実験計画を立てながら研究を進めています。

（助手）

（奥村仙示）

食品機能学（杉浦）研究室

はあと3年で退官されますので、に配属されました。実験操作に慣れるための予備実験を終え、最近ご挨拶を考えておられる場合はどんと共に研究環境を立ち上げたいと思います。

（助手）

食品機能学（森）研究室

（助手）

食品機能学（西村）研究室

（助手）

運動生理学（米田）研究室

生活科学会第五十七回大会案内

日時 七月五日（水）午後三時
場所 楽真館四〇一教室

一、総会

会長挨拶

二〇二二年度事業報告および決算報告
二〇二三年度事業計画案および予算案審議

二、講演会

「やさしい和食でムダなく美味しく」

大原千鶴氏（料理研究家）

生きていく中で一番大切な食事。どこででも簡単に食事を取ることのできる現在ですが、やはり大切にしたいのは簡単で安心できる家庭料理。中でも和食は心と体を整えてくれます。毎日のご飯を簡単に無駄のないものにするコツをお伝えします。

講師紹介

京都・花背の料理旅館「美山荘」の次女として生まれる。幼少から里山の自然に親しみながら和食の心得や美意識を育む。二男一女の母として培った、家庭的かつ美しい料理に定評がある。雑誌やテレビ出演、料理教室、エッセイ執筆、CMやドラマの料理監修などで活躍。
近著「大原千鶴のいつくしみ料理帖」（世界文化社）他多数

参加費無料・要事前申込
【受付締切：6/26（月）17:00】

見学会

京菓子手づくり体験

内 容	京都の和菓子の老舗「亀屋良長」で、和菓子のレクチャーと生菓子の手づくり体験を行います。自分で作った和菓子と一緒に抹茶もいただけます。京都ならではの食文化を体験してみてはいかがでしょう。
日 時	2023年11月4日（土）14:00～16:00
場 所	亀屋良長 本店 〒600-8498 京都府京都市下京区四条通油小路西入柏屋町 17-19 ・市バス 「四条堀川」下車すぐ (京都駅からは9、50、101番に乗車) ・電車 阪急大宮駅 東3番出口から徒歩5分 阪急烏丸駅、地下鉄烏丸線四条駅 24番出口から徒歩10分
集合時間	13:50までに現地集合
参加費	500円
定 員	30名
受付期間	2023年10月23日（月）～10月27日（金） (要申込、申込多数の場合抽選となる可能性があります)

問い合わせ先

同志社女子大学生活科学会
〒602-0893 京都市上京区今出川通寺町西入
(E-mail) hlgakkai@dwc.doshisha.ac.jp
(TEL) 075-251-4211
(Web サイト)
<https://hlgakkaidwcla.com/>



研究会

本場の美味しい紅茶を知る「贅沢な紅茶時間」

内 容	スリランカのティーティスターの茶道具を用いて、熟練した専門家のやり方で、紅茶のティステイングを体験。紅茶原産国から届いた単一茶園の新茶を使い、本来持つ香昧を五感で味わいます。さらに、現地で撮影した写真を通じて、製造工程や背景について深く学び、海外の茶文化に触れる貴重な体験ができます。美味しい紅茶で心を満たす贅沢な時間を過ごしましょう。
日 時	2023年11月1日（水）15:00～16:30
場 所	今出川キャンパス 楽真館 R 207 教室
講 師	紅茶専門家 福田万弓さん (TEA GIORNO KYOTO. 代表) 京都らしい紅茶教室ティージョルノ主宰 Tea coordinator ディプロマ取得 英 国「TEA & MANNER CERTIFICATE OF COMPLETION」取得
参加費	500円
定 員	30名
受付期間	2023年10月16日（月）～10月20日（金） (要申込、申込多数の場合抽選となる可能性があります)

申込方法

大会講演会・研究会・見学会のお申込みは、生活科学会 Web サイト内申込フォーム、E-mail、ハガキのみとさせていただきます。必ず、氏名・住所・メールアドレス（お持ちでない方は電話番号）・学籍番号もしくは卒業年を明記してください。